

令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果  
国立大学法人奈良教育大学

## 1 全体評価

奈良教育大学は、豊かな人間性と高い教養を備えた人材、特に有能な教員を養成して、我が国の教育の発展・向上に寄与することを社会的使命としている。第3期中期目標期間においては、能力の向上を目指し常に学び続ける教員を養成し、持続可能な社会の創造に寄与しうる教育を推進するとともに、知の創出と教育的課題への対応を主軸とした研究の成果に基づいた教育及び実践的活動を推進すること、また、地域の教育に対する支援を強化し、教員研修並びに地域の教育課題に対応することを基本的な目標としている。

この目標の達成に向け、学長のリーダーシップの下、ESDティーチャープログラム、教員免許状更新講習、奈良県小学校若手教員育成研修等の教員研修を実施する一方、教員就職支援の一環として「教職セミナー」を開催し学生の教員就職意欲の向上を図るなど、教員養成と研修の融合を推進するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

### （「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の取組状況について）

第3期中期目標期間における「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、令和2年度は主に以下の取組を実施し、法人の機能強化に向けて積極的に取り組んでいる。

- 令和4年度から専門職学位課程への重点化・大学院修士課程の特色化を実現する大学院改組計画案を策定し、学内の各種会議において了承を得ており、今後、令和4年4月からの両課程の円滑な実施に向け、入試、教育課程、教育・研究組織等について検討し体制を整えていくこととしている。（ユニット「教育委員会・学校・地域との組織的連携・協働による、教員養成・研究機能の強化」に関する取組）

## 2 項目別評価

| ＜評価結果の概況＞         | 特 筆 | 一定の<br>注目事項 | 順 調 | おおむね<br>順調 | 遅れ | 重大な<br>改善事項 |
|-------------------|-----|-------------|-----|------------|----|-------------|
| (1) 業務運営の改善及び効率化  |     |             | ○   |            |    |             |
| (2) 財務内容の改善       |     |             | ○   |            |    |             |
| (3) 自己点検・評価及び情報提供 |     |             | ○   |            |    |             |
| (4) その他業務運営       |     |             | ○   |            |    |             |

## I. 業務運営・財務内容等の状況

## (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

①組織運営の改善 ②教育研究組織の見直し ③事務等の効率化・合理化

## 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## (2) 財務内容の改善に関する目標

①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加 ②経費の抑制 ③資産の運用管理の改善

## 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等を総合的に勘案したことによる。

令和2年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

## ○ クラブハウスの建設のための同窓会基金による外部資金比率（寄附金）の上昇

老朽化したクラブハウスの建設基金として同窓会より寄附1,000万円を受け入れている。その他、附属中学校後援会からの寄附金、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急学生支援金の募集に対する寄附の受け入れ等により、外部資金比率（寄附金）が1.3%に上昇している。

**(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標**

①評価の充実 ②情報公開や情報発信等の推進

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載4事項全てが「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

**(4) その他業務運営に関する重要目標**

①施設設備の整備・活用等 ②安全管理 ③法令遵守

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載12事項全てが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

## Ⅱ. 教育研究等の質の向上の状況

令和2年度の実績のうち、下記の事項について注目される。

### ○ ラーニング・コモンズやオンライン等を用いた教員養成と研修の融合

京阪奈三教育大学の令和元年度学生企画活動支援事業のポスター報告会や、三教育大学大学祭実行委員会意見交換会をオンライン方式で実施するなど、三教育大学間の学生間交流・連携を推進している。ESDティーチャープログラム、教員免許状更新講習、奈良県小学校若手教員育成研修等の教員研修を実施する一方、教員就職支援の一環として「教職セミナー」を開催し学生の教員就職意欲の向上を図るなど、教員養成と研修の融合を推進している。